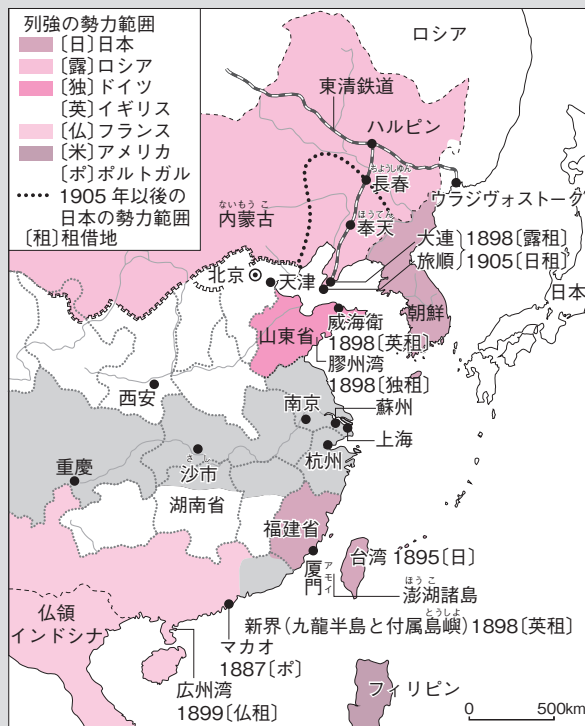


6-3 日露戦争

日清戦争の敗北により清の弱体ぶりが明らかになると、諸列強は**中国分割**にのりだしました。東アジアは帝国主義諸国の侵略の時代をむかえたのです。

● 中国における列強の勢力範囲



➡ ドイツは膠州湾の、ロシアは旅順・大連の、イギリスは九龍半島・威海衛の、フランスは広州湾の租借権、その他の権益を手に入れました。進出に出遅れたアメリカは、清国における門戸開放・機会均等を提唱して進出の機会をうかがいました。なお、日本も清国に対し、台湾（日本の植民地）の対岸にあたる福建省の他国に対する不割譲を1898年に確約させました。

こうした国際情勢のなかで、清国では「扶清滅洋」を唱える反帝国主義の

運動である**義和団**の勢力が強くなると、清国政府もこれを国権回復に利用しようとし、列強に宣戦布告しました。これに対し、日本は諸列強中最大の軍隊を送って鎮圧にあたりました。これが**北清事変**です。

👉 北清事変は、1900年、北京に侵入した義和団（「**扶清滅洋**」がスローガン）が各国公使館を包囲し、清国政府もこれに同調して列強に宣戦布告したため、日本・ロシアをはじめとする列強8カ国が共同出兵して、これを鎮圧したものです。翌年、清国は列強と**北京議定書**（賠償金や軍隊の北京駐留権などを承認）を結び謝罪しました。

この事件後、ロシアは満州を事実上占領したため、日本政府は**韓国**における権益に危機を感じました。

👉 三国干渉後、日本の朝鮮公使**三浦梧棲**（^{みうらごろう}）は、親露派の閔妃を殺害させました（**閔妃殺害事件**）。しかし、これを機に、朝鮮国王**高宗**はロシア公使館に逃れ、1897年に**大韓帝国**（韓国）[親露政権]を成立させました。

日本政府部内には、ロシアと協調して満韓交換を行うか（**日露協商論**）、イギリスと同盟して韓国における日本の権益を維持するか（**日英同盟論**）で対立がありましたが、結局、第1次桂太郎内閣は、1902年、**日英同盟協約**を結びました。

入試によく出る史料



日英同盟協約

第一条 …即チ其利益タル大不列顛国^{ブリテン}ニ取りテハ主トシテ清国ニ関シ、又日本国ニ取りテハ其清国ニ於テ有スル利益ニ加フルニ、韓国ニ於テ政治上並商業上及工業上格段ニ利益ヲ有スルヲ以テ、…両締約国^{いず}敦レモ該利益ヲ擁護スル為メ必要欠クヘカラサル措置ヲ執リ得ヘキコトヲ承認ス

第二条 若シ日本国又ハ大不列顛国ノ一方カ上記各自ノ利益ヲ防護スル上ニ於テ列国ト戦端ヲ開クニ至リタル時ハ他ノ一方ノ締約国ハ**厳正中立**ヲ守リ^①併セテ其同盟国ニ対シテ他国カ交戦ニ加ハルヲ妨クルコトニ努ムヘシ

第三条 上記ノ場合ニ於テ若シ他ノ一国又ハ数国カ該同盟国ニ対シテ交

戦ニ加ハル時ハ他ノ締約国ハ来リテ援助ヲ与ヘ、協同戦闘ニ当ルヘシ、
講和モ亦該同盟国ト相互合意ノ上ニ於テ之ヲ為スヘシ

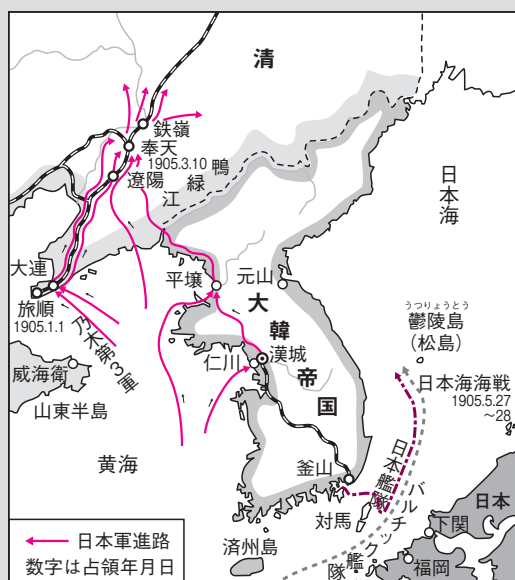
①日露戦争はこれに該当する

日本は、日英同盟を背景に満州からのロシア軍の撤退を要求する一方で、ロシアとの戦争準備を進めました。

👉日本国内では、キリスト教徒の**内村鑑三**や社会主義者の**幸徳秋水**や**堺利彦**らが非戦論・反戦論をとねえましたが、国内世論は開戦論に傾き、日露戦争へと至りました。

1904年2月、日本海軍が旅順港外のロシア艦隊を攻撃し、**日露戦争**が始まりました。日本陸軍は翌年、**旅順占領**、**奉天会戦**に勝利し、海軍はバルチック艦隊を**日本海海戦**で撃破しました。

● 日露戦争要図



しかし、日本の著しい国力の消耗やロシア国内における革命運動の高まりで、やがて両国とも戦争を継続することが困難となりました。

📌日露戦争では、その軍事費約17億円のうち、外債で約7億円、内債で約6億円をまかなっており、借金による戦争といえましたが、戦費は1903年の日本政府の一般会計歳入約2億6千万円の約6.5倍という過大なものであり、国民には厳しい増税が課せられることになったのです。

こうした情勢を背景に、アメリカ大統領**セオドア＝ローズヴェルト**の斡旋によって、1905年9月、アメリカのポーツマスで日本全権**小村寿太郎**とロシア全権**ヴィッテ**との間で講和条約（**ポーツマス条約**）が締結され、戦争は終結しました。

●ポーツマス条約

- ①韓国に対する日本の優越的地位の承認
- ②旅順・大連の租借権と長春以南の鉄道権益の譲渡
- ③北緯50度以南の樺太の割譲
- ④沿海州とカムチャツカの漁業権

入試によく出る史料



ポーツマス条約

第二条 露西亞帝国政府ハ、日本国カ**韓国**ニ於テ政治上・軍事上及經濟上ノ卓絶ナル利益ヲ有スルコトヲ承認シ、日本帝国政府ガ韓国ニ於テ必要ト認ムル指導・保護及ビ監理ノ措置ヲ執ルニ方リ、之ヲ阻礙シ又ハ之ニ干涉セザルコトヲ約ス。…

第五條 露西亞帝国政府ハ、清国政府ノ承諾ヲ以テ、**旅順口**・**大連**並其ノ附近ノ領土及ビ領水ノ租借権及該租借権ニ関連シ又ハ其ノ一部ヲ組成スル一切ノ權利・特権及ビ譲与ヲ日本帝国政府ニ移轉讓渡ス。…

第六條 露西亞帝国政府ハ、**長春**（寛城子）・**旅順口**間ノ鉄道及ビ其ノ

一切ノ支線並ニ同地方ニ於テ之ニ附属スル一切ノ権利・特権及ビ財産及ビ同地方ニ於テ該鉄道ニ属シ又ハ其ノ利益ノ為ニ経営セラルル一切ノ炭坑ヲ、補償ヲ受クルコトナク、且ツ清国政府ノ承諾ヲ以テ、日本帝国政府ニ移転譲渡スベキコトヲ約ス。…

第九条 露西亞帝国政府ハ、薩哈噠島南部^①及其ノ附近ニ於ケル一切ノ島嶼並該地方ニ於ケル一切ノ公共營造物及財産ヲ完全ナル主權ト共ニ、永遠日本帝国政府ニ譲与ス。其ノ譲与地域ノ北方境界ハ北緯**五十度**ト定ム。…

①樺太南部

この条約では賠償金が得られなかったことから、日本国内では講和反対の世論が起り、**日比谷焼打ち事件**という暴動が起りました。

